

**第 2 回「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた
文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議」**

農林水産省提出資料

平成 2 8 年 3 月
農林水産省

我が国の農林水産業に吹く追い風

日本及び日本食への注目の高まり



国内外への日本食文化発信等の絶好の機会

海外における好きな外国料理ランキング

・日本料理が第1位

(第2位はイタリア料理、第3位は中国料理)

2014年3月「日本食品に対する海外消費者アンケート調査」(JETRO)(海外6都市)

海外における日本食レストラン数

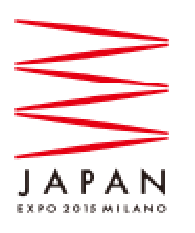
・約8万9千店(平成27年7月時点)

前回調査(平成25年1月時点から約1.6倍)
(農林水産省調べ)



[2015]ミラノ万博開催

テーマ「地球に食料を、生命にエネルギーを」



[2013]



「和食」ユネスコ無形文化遺産登録決定

今後の国内での取組

日本食文化を未来に向けて守り伝えていく、国民的な機運に繋げることが重要。



[2020]

オリンピック・パラリンピック

東京大会

大会の成功に貢献するため、日本食での「おもてなし」

- ・和食で日本の文化を味わってもらう
- ・木づかいで東北の復興を日本らしさを発信
→大会施設や選手村等の木造化など
- ・国産豊等の活用で日本らしい大会を演出
→日本文化を体感できる「和の空間」の設置など
- ・農山漁村で日本の文化を感じてもらう
- ・世界最高水準の日本の花で日本らしさを演出
→マラソンの沿道やビクトリーブーケ
- ・「もったいない」精神で環境五輪を印象づけ
→訪日外国人の受入体制の整備を進める

日本食文化発信による海外需要フロンティアの開拓

【背景・課題】

- 日本国内の食市場が縮小する中、雇用・所得を守り、**政策目標の輸出額1兆円の前倒し**を達成するには、今後食市場の拡大が見込まれる**国・地域の需要を開拓し、輸出拡大のための取組**が重要。

- 日本産農林水産物・食品を輸出する取組と併せて、**日本食・食文化を世界に発信**することで、**日本産農林水産物・食品に対する関心と需要を高め**て普及させるとともに、世界に正しく伝播させる仕組みの構築が必要。

【対策のポイント】

総合対策

日本食・食文化の
魅力の世界発信

日本食の
ブランド化

輸出促進・海外展開
のための環境整備

日本食・食文化普
及の人材育成等

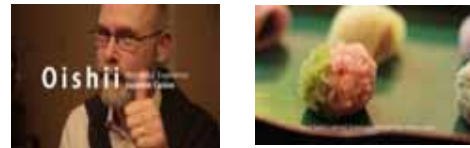
日本産物・食品
への需要拡大

多様なコンテンツを 活用した魅力発信

- 日本食文化週間、日本食の日の開催
- 海外の進出日系企業や給食事業者との連携
- 海外食育活動との連動
- トップセールス等の実施
- 外国人日本料理コンテストの開催
- クールジャパン関係府省等と連携
- ポータルサイトの活用
- 海外広報媒体の活用
- 空港・海港の活用と連携

海外メディア活用型魅力発信

- 海外メディア等を活用した日本食・食文化の魅力発信



日本食文化普及人材の育成

- 日本料理講習会・セミナー開催
- 海外料理学校の活用
- 海外日本食料理人の招へい研修支援

海外日本食レストラン 品質向上支援 日本食材活用に向けた連携・ 情報発信支援

- 日本食料理人の技能認定推進の支援
- 海外日本食文化サポーターレストラン連携・情報発信支援
- 外食産業投資ミッション派遣、事業可能性検証(テストキッチン)等の支援

効果

- 海外における日本産農林水産物・食品の**需要拡大**
- 政策**目標輸出額1兆円の前倒し**に向けた輸出促進への貢献

